

市民の声をまっすぐ市議会に届ける

# 日本共産党 村上千枝 議員



郷里は東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市。「この悲劇を釧路で繰り返さない」と津波対策がライフワーク。父子家庭で娘を育てた経験もあり、ジェンター平等にも力が入る。

予算議会が終わりました。市長が提案した予算には、今の物価高騰の中で市民生活を守る視点がありません。市長と厳しく対決しながら、市民のたくさんの方の声を議会に取り上げました。オール与党が多数を占める市議会の中でなくてはならないのが、共産党議員団です。

## 阿寒町の洪水ハザードマップ

村上千枝議員が議会ですつと力を入れてきたのが阿寒川・舌辛川の洪水対策です。大楽毛地区に続いて、近く阿寒本町地区の洪水ハザードマップが発表、阿寒全戸に配布されることになりました。

## 津波避難所を一つでも多く

住宅地の避難場所について、津波が来るまでに逃げられる距離はどの



くらいかを調査。「逃げきれない人がたくさん出てくる」と追及。中鶴野では新道

に津波避難場所を設ける予定であることを明らかにさせました。

「釧路町新開、北見団地には4基の津波避難タワーができる」と、市内にも新たな津波避難施設の建設を求めました。

## 国保料値上げにキツパリ反対

異常な物価高の中で、国保料は一世帯5千円の値上げ、とんでもありません。家族の人数に応じてかかる均等割は、子どもにも等しくかかるので、

子育て世帯の負担は大変です。就学前の子どもの均等割は半額ですが、旭川市のように高校卒業まで延長せよと求めました。



## 酪農危機打開

飼料価格が高騰、牛の個体販売価格も暴落して、酪農は存亡の危機に立たされています。国に対して、飼料の高騰対策、乳製品の輸入停止を働きかけること、市が独自に飼料高騰に対する支援策を講じるよう求めました。



日本共産党釧路地区委員会は政策を発表したので紹介します。

## 待って!!

## 自衛官募集のため住民基本台帳閲覧

15歳男、18歳と22歳の男女のすべての住民基本台帳を自衛隊が閲覧、書き写しています。このことをほとんどの市民は知りません。少なくとも、この事実を本人に伝えること、閲覧させないでほしいと希望する場合は閲覧させないことを求めました。

## アイヌの方々の尊厳守って

市はアイヌ共同納骨堂を紫雲台墓地につくっています。しかし、委託費は全く足りず、修繕もされずにとんでもない話です。村上千枝議員も質問し、